



No.142

E-mail n-shokyo@happytown.ocn.ne.jp

URL http://www5.ocn.ne.jp/n-shokyo/

発行日 平成 26 年 3 月 3 日
発行者 特定非営利活動法人
新潟県消費者協会
事務局 〒950-0394
新潟市中央区上所2丁目2番2号
新潟ユニゾンプラザ1階
TEL・FAX (025) 281-5558



全国消費生活相談員協会の講座実演風景

「消費生活サポーター フォローアップ講座」開催



フリーランサー菊野麻子先生の
「啓発講座での上手な話し方」



三流亭楽々さんの落語が大好評
「悪質商法被害防止啓発講座」新潟市消費者協会新津支部
平成25年度消費生活向上のための県民提案事業

目次

- NEWS(平成 25 年度 協会事業報告、受託事業報告)
平成 25 年度 消費生活向上のための県民提案事業・学び応援事業 2 P
- 平成 25 年度関東ブロック「地方消費者グループ・フォーラム in 千葉」
「消費者教育フェスタ in 千葉」に参加して(会長 長谷川かよ子)、
平成 26 年度 通常総会・記念講演会のお知らせ 3 P
- 最近気になるスポット「世界ジオパークの糸魚川」 4 P
- 消費者キーワード「価格表示にご注意を!」、作ってみませんか!「手作り打ち豆」 5 P
- 協会だより(過去 5 年間の事業の中でいちばん「よかった、勉強になった、楽しかった事業」) 6 · 7 P
- 現場を見せて!「亀田製菓株式会社」 8 P



上越地区研修会

NEWS

平成 25 年度 協会事業報告

●上越地区研修会(11/26 直江津学びの交流館)

「今、知っておきたい土砂災害の話」

国土交通省 北陸地方整備局 建設専門官

福田光生 氏

最近の土砂災害の現状の対策について、詳細なデータや迫力ある映像を用いてわかりやすいお話を、災害時の対応についてあらためて考えされました。

●中越地区研修会(11/28 アオーレ長岡)

「最近の相談事例について」

長岡市立消費生活センター

身近に起きている様々な悪質商法や詐欺による被害。他人事と思わず、自分も危ないと自覚して、心して暮らさなければとあらためて思いました。

平成 25 年度 受託事業報告

●消費生活サポートフォローアップ講座

(11/14、11/22 新潟ユニゾンプラザ)

今年度後期は初心者向け 11/14、経験者向け 11/22 と 2 回に分けて実施しました。消費生活の問題に関する新しい情報や啓発講座の具体的な実践方法などについて学びました。

●「消費生活センターだより」の発行

消費生活センター5人が編集を担当、2/10に 12,000 部発行。市町村はじめ関係団体に配布、センター活動の広報紙として活用されます。

●講座プログラムの制作

消費生活相談員などの専門家と消費生活センターが連携して啓発講座のプログラムを制作しています。3月完成予定です。

●高齢者消費生活トラブル未然防止連絡会議

市町村の消費者行政担当課、高齢者福祉担当課と連携して、高齢者のトラブル未然防止に向けて、情報提供・意見交換等を行いました。

●消費生活センター派遣事業

平成 26 年 1 月現在で 164 人の消費生活センターが登録し、全県で活動中です。平成 25 年度の啓発講座の実績は 62 件(1/22 現在)。県内での認知度も高まり、活動の場が広がっています。

平成 25 年度 消費生活向上のための県民提案事業・学び応援事業(消費生活ネットワーク新潟)

	団体名	実施日	企画	内容
消費生活のための県民提案事業	柏崎市消費者協会	8/24~9/21 5回	消費生活ミニ講座	「わが街の市民センターをめざそう!」 講師:柏崎市消費生活センター、斎藤辰一郎 弁護士、井比俊雅 司法書士、山本悠一 弁護士
	上越市消費者協会	10/5	講演会	「消費者庁の現状と今後の課題～地域での協働の推進～」 講師:消費者庁長官 阿南 久 氏
	十日町市消費者協会	11/28	講演会	「上手な歳の重ね方」 講師:沖藤典子 氏
	新潟市消費者協会 新津支部	12/4	講演会	悪質商法被害防止啓発講座 ①「増加する悪質商法・狙われやすい高齢者」 講師:三流亭樂々 氏 ②「DVDによる被害実例と啓発講座」講師:あきはネット ③「身近に起きている被害と防止について」秋葉区警察署
	新潟市消費者協会 新潟支部	2/12	講演会	「大規模災害に備えて～今日から役立つ家庭の防災術～」 講師:防災・危機管理アドバイザー、防災システム研究所所長 山村武彦 氏
学び応援事業	佐渡市消費者協会	10/25	講演会	「南蛮エビの現状と未来～地産地消をめざして～」 講師:三重大学 生物資源学部 准教授 勝川俊雄 氏

活動
テーマ

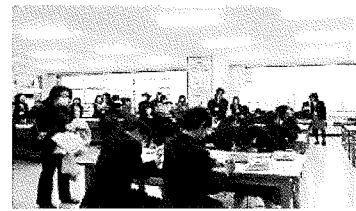
たしかな情報 かしこい選択
～地球環境を守り、安全・安心な生活のために行動しよう～

平成 25 年度 関東ブロック

「地方消費者グループ・フォーラム in 千葉」

「消費者教育フェスタ in 千葉」に参加して

新潟県消費者協会 会長 長谷川かよ子



轟町中学校での授業風景

「私は価格や機能だけでなく、使いやすさや重量も大事なポイントだと思います」電子辞書を購入する際の生徒の様々な角度からのしつかりした発言です。千葉市立轟町中学校での技術・家庭科の消費者教育の授業で、小さな消費者が消費者市民社会の形成に立派に参画している様子が感じられました。

1月30日、31日と千葉市で開催された消費者教育フェスタと消費者グループ・フォーラムは、文部科学省と消費者庁の初めての合同開催でした。

30日に轟町小学校・中学校で行われた特別支援学級も含めた公開授業と企業団体各社によるデモンストレーション授業では、広告の実態やパソコンの中身を見るなど幅広い内容の授業が行われ、児童生徒の高い関心を集めています。小・中学校における消費者教育の先進的な取り組みを見ることができました。

31日は地方消費者グループ・フォーラムが千葉市民会館で開催され、「みんなで学ぼう、つながりを広げよう」～消費者教育と地域での連携・協働を考える～のテーマのもと、パネルディスカッションや事例報告、分散会が行われました。パネルディスカッションではコーディネーターの西村隆男氏（横浜国立大学教授）の進行で、5人のパネラー、萩原なつ子氏（立教大学教授）、柿野成美氏（消費者教育支援センター研究員）、庄司佳子氏（轟町小学校長）、池田美明氏（千葉

県環境生活部副課長）、辯護士、ネットちば事務局長）がそれぞれの立場で発言し活発な討論が行われました。印象に残った内容は「今まで関わって来なかつた人たちといいかに連携していくか」「持続可能な開発のための教育（E S D）で行動できる人材をどう育てていくか」「お互いのアイデアを引き出すワールド・カフェの方法」「地域と一緒に学んでいく取り組みはどこから始めたらよいか」「親子で学ぶきっかけづくり」「危機管理としてのゆるやかな介入」などで、今後の活動にどのように生かしていくことができるかを考えるきっかけとなりました。

午後の分散会では257人の参加者が、消費者団体、行政、教員、相談員、民生委員等各班7～8人で29班に分かれて情報交換とテーマを決めた話合いを行い、他県の様子を知る良い機会となりました。最後に阿南久消費者庁長官の「アブナイカモ」の音楽にのってのパフォーマンスがあり、楽しい閉会となりました。



平成 26 年度 通常総会・記念講演会のお知らせ

- ◆日 時 平成 26 年 4 月 25 日(金)
午後 2 時半～4 時
- ◆会 場 新潟ユニゾンプラザ 4F 大研修室
- ◆記念講演会
「消費者市民がひらく、持続可能な社会」

◆講 師 立教大学大学院
21世紀社会デザイン研究科教授

萩原なつ子 氏

消費者市民社会の連携・協働、消費者教育、環境教育等についてお話しします。

みなさん、ふるってご参加ください！

火災警報器の設置はお済みですか？

住宅火災で亡くなられた方の6割が逃げ遅れによるものです。火災警報器は、平成23年5月に設置が義務付けられましたが、新潟県内の推定設置率は、83.5%（平成25年6月現在）。未だ未設置の住宅が見られます。あなたの生命を守るために、全ての住宅に住宅用火災警報器を設置しましょう！



最近
気になる
スポット

世界ジオパークの糸魚川

「大地の公園 ロマンと感動が体験できるまち」



能生弁天ジオサイト

ジオパークってなーに？ よく聞かれます！

Geo(地球・大地)と Park(公園)を表していることから大地と人と人の活動を楽しむ公園として糸魚川市はユネスコが支援するプログラム「世界ジオパーク」に日本で初めて認定されました。

今回は糸魚川市消費者協会会員の笠原様に取材と写真をお願いしました。

私のおすすめコース

1 ユーモア交えて説明してくれる学芸員がいる「フォッサマグナミュージアム」

糸魚川駅から車で10分ほどのところ、美山丘陵地帯に世界のヒスイ・貴石・奇石がいっぱいの地球博物館があります。1,000点以上の展示物があり、ゆっくり、のんびり見学してから、24のサイトへ誘います。あなた探しの冒険の出発点です。（学芸員からの説明は要予約）



フォッサマグナミュージアム

2 親不知海岸の断崖「天下の險」

越路の難所、旅人の苦労がしのばれる歴史文化がそのままにタイムスリップしたミステリアスなレンガトンネルや「砥の如し・矢の如く」と断崖に刻まれた旧国道で日本海を振りかえり、海岸に降り立ってみてはいかがでしょう。「すごい！ 街道の面影が！ こんなところを波をよけて歩いていたんだね」

大きな波が寄せて返す（ホラホラ今のうちに急いで越えなければ）・・・あっ危ない！

ジオパークの活動は

「歴史・文化・動植物・地形地質」を含み環境保全や教育、ジオツーリズムを通じて地域社会の成り立ちに愛着と誇りを持って日々の暮らしの中に役立たせる、スケールの大きい活動となっています。

3 ヒスイのふるさと石灰岩の大岩壁

「小滝川ヒスイ峡」

糸魚川で30分、険しい山道を通り抜けると、鳥や木々の語らいが聞こえて、ブナ林の間から爽やかな風と共に明星山が出迎えてくれます。眼下に流れる小滝川に沿って、ヒスイの原石が一層の輝きを増すことでしょう。ジオ丼で一腹。夕日に向かって、海岸線で時を忘れてヒスイ拾いしてもいいですね。健康ウォークで、心地良い汗をかいて温泉で温まって英気を養うのも楽しみの一つです。

「源泉かけ流し温泉が10か所もあるんですよ」



小滝川ヒスイ峡



親不知海岸 天下の險



美味しい二度楽しめるジオ丼。熱い出し汁を丼にかけて。

糸魚川世界ジオパーク（ホームページ「糸魚川世界ジオパーク」で検索）

糸魚川ジオパーク協議会 糸魚川市役所ジオパーク推進室TEL.025-552-1511

フォッサマグナミュージアム 糸魚川市一の宮 1313(美山公園内) TEL.025-553-1880

休館 展示リニューアルのため平成26年9月8日(月)～平成27年3月中旬まで

糸魚川市のホームページでご検索ください。素敵なコースへご案内します。

地域協力員 笠原幸江

消費者キーワード

テーマ：価格表示にご注意を！

消費税法では総額表示の義務が規定されていますが、消費税率変更に伴い、店頭等での表示価格において、一定期間特例措置がなされています。平成25年10月1日から平成29年3月31日までの間、誤認されないように表示していれば、税抜き価格を表示することが可能となっています。

また、旧税率に基づく価格表示の混在も起こり、消費税率が変更の施行日（平成26年4月1日）以降になると一層店によって表示方法に違いが出ることが考えられます。

私達は価格表示をよく確かめて買い物をするようにしましょう。価格表示を確認する際の参考にしてください。

（編集委員 壁谷真紀）

< 税抜き価格のみを表示する場合 >

- 個々の値札等において税抜き価格であることを明示した値札表示例

○○円(税抜)

○○円(本体)

○○円+税

- 目に付きやすい場所に一括して税抜き価格であることを明示した表示例

当店の価格はすべて税抜き表示です。
消費税分はレジにて別途精算させていただきます。

この商品棚に陳列してある商品はすべて税抜き表示です。消費税分はレジにて別途精算させていただきます。

当サイトの商品はすべて税抜き価格です。消費税分は別途計算させていただきます。

< 旧税率に基づく価格表示が残る場合 >

- 新税率適用後においても一時的に旧税率に基づく表示が残る場合の表示例

旧税率(5%)に基づく税込価格を表示している商品については、レジにて改めて新税率(8%)に基づき精算させていただきます。

- 新税率適用前から新税率に基づく税込価格の表示を行う場合の表示例

既に新税率(8%)に基づく税込価格を表示している商品については、3月31日まではレジにて旧税率(5%)で精算させていただきます。

消費税総額表示の特例に関する問い合わせ
財務省主税局税制第二課 03-3581-4111(代)

作ってみませんか！

郷土料理として愛用され続ける

手作り打ち豆

【打ち豆の作り方】

- ①大豆に熱湯をかけ、豆の大きさによって5～10分程蒸らす。ザルにあげ、乾かす。(水分を含み過ぎるとよくない)
- ②固い台に一粒ずつ置き、木槌などでつぶす。(牛乳パックをタテ半分に切り、その中でつぶすと豆が飛び散らない)
- ③自然乾燥させ、保存袋に入れて冷蔵庫、冷凍庫で保存する。



打ち豆は消化も良く、さまざまな方法で調理することができ便利な食材です。
べっとうんこの打ち豆は他の食材との絡みも最高で、白いご飯にピッタシ。
右の写真は大根と人参に打ち豆を入れて油炒めしたものです。ごちそうさん！

良質な植物性タンパク質を多く含む大豆で、思い立ったらすぐに使えるのが打ち豆のいいところです。手作りの打ち豆はしっとりしておいしいんです。

買った方が早い！？そんなんですが。。。

大豆と固い台と木槌などを用意してがんばってみてください。

（編集委員 高橋きよい）



協会だより

- 今年度の団体会員の代表者会議で、「よかつた事業や見学地
- を知りたい」という要望がありました。そこで、各協会に、
- 一押しを紹介してもらいました。題して (編集委員
桜井喜美子)

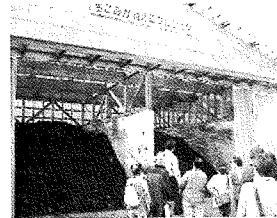
過去5年間の事業の中でいちばん、

「よかつた」「勉強になった」「楽しかった」事業

研修旅行・見学会・視察

◇生ゴミ100%堆肥化視察

平成24年見附市の生ゴミ処理場を見学。まだモデル地区での実験だが、生ごみと微生物を混合処理し、生ごみの痕跡が見えない程に自然分解される。その結果、生ゴミは焼却しないで堆肥に。CO₂排出量の削減も実現。堆肥は市各地で使用され、夢のような驚きの研修でした。



新潟市消費者協会巻支部

◇県外視察、長野方面の旅

県外の様々な施設を見学し、消費生活に役立てる目的で平成25年度は、長野県伊那市、伊那食品工業「かんてんぱぱガーデン」を見学しました。寒天はヘルシーでいろいろな種類の商品があり、改めて寒天への理解を深めることができました。また、道中はすばらしい紅葉と駒ヶ根の雪景色を堪能することができ、大変好評でした。

三条市栄消費者協会

◇日本銀行本店視察見学

円安、株高が家計に与える影響への心配や消費税問題も控えていた時期に日銀本店への見学は関心が高く、定員オーバーとなつたくらいです。普段行けない所での研修は、「難しい経済のことが身边に感じられ、大変勉強になった」等々大変好評でした。

上越市消費者協会

◇テレビ局「NST」見学

私達の生活と切り離せないメディアの代表のテレビ局を見学しました。番組の制作過程や、アナウンサーの収録の様子や、いつも目にするお馴

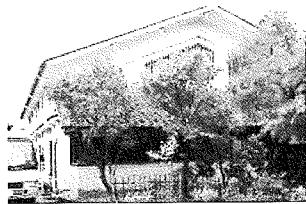


染みのスタジオでは、キャスターになった気分でした。よく拝見するアナウンサーの方とも親しくお話しできて、楽しい一日でした。

新潟市消費者協会新津支部

◇吉田東吾記念博物館視察

越後の農民の子として生まれた吉田東吾は独力で13年もかけて「大日本地名辞書」を完成させたということです。この辞書は日本全土のその地方の自然風土・文化の特性を集大成した全国地誌です。展示物を見学し説明を聞き、力強さに関心しました。



五泉市消費者協会

◇圃場見学

平成21年度に「佐渡市地産地消推進条例」が施行され、佐渡市消費者協会もこの推進に力を入れ、圃場見学を毎年実施しています。安全・安心な農産物がどのような苦労の中で作られ、地場産を買うことの重要性を認識するために農家の「生」の声を聞いています。佐渡市消費者協会

講座・講習会

◇「発酵食品の魅力」講座



消費者力アップ講座「発酵食品の魅力」で塩麹作りを体験しました。主に肉料理に利用、家族に美味しいと喜ばれています。地産地消の「手前味噌作り」、麹から作ります。昔ながらの味噌の味と大好評です。味噌造りがしたいと協会に入会した会員もいます。年々作るキロ数が増えています。

見附市消費者協会

◇「料理講習会」

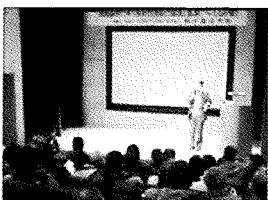
毎年2月、地産地消をテーマに柏崎でとれた食材を用い、料理講習会を行っています。会員はもとより、一般市民の参加希望者も多く、すぐに定員に達します。平成22年はエゴ、24年は黒豆ご飯、25年は鯛めしとおいな汁など。大変好評でした。今年はサザエご飯です！！



柏崎市消費者協会

◇「消費者力アップ」講座

新潟大学 野中昌法教授を講師に招いて「原発事故に伴う放射性物質の環境と農業への影響」と題する講演会を開催しました。参加者は真剣に耳を傾けていました。10人以上から質疑があったにもかかわらず、閉会後も参加者が講師を取り囲み質問を続けるほど盛況でした。



十日町市消費者協会

◇「三条鍛冶道場」体験講習

鍛冶体験会として包丁研ぎの体験をしました。包丁は持ち込みでもOK(原則一人1本90円)。ほとんどの人が家にある包丁を持って行き、手ほどきを受け、ほんとによく切れるようになったと喜んでいました。参加者の声「コツは角度、今度は鎌を研ぎたい」

新潟市消費者協会白根支部

◇「エコ手芸」講座

エコ手芸は毎年行っている活動です。(今年度残念ながら未実施)手を動かし、頭を使ってワイワイ言いながら小物を作っていくのは、世界に一つだけのもの、という充実感があります。村上の本間キトさんから講師をしていただくことが多く楽しいです。

新潟市消費者協会豊栄支部

販売会・フリーマーケット・交流会

◇フリーマーケット

毎年春と夏2回開催のフリーマーケットは、会場が屋外ですので、雨の心配をしながら当日を迎えます、公園いっぱいに店舗が並び、大勢のお客さんで賑わいます。当協会も「廃油石けん」や「会員持ち寄りの品物」を販売し、不用品の再利用や、協会活動の宣伝に努めます。



魚沼市消費者協会

◇リサイクル即売会

毎年11月3日に行われる地域最大のイベントである「産業まつり」に当協会もリサイクル即売会として参加してきました。会員のリサイクル手作り品、各家庭の不用になっている物などを、必要としている方に少しでもお役に立てば幸いということで格安で販売、好評でした。

南魚沼市消費者協会

◇「村上の逸品発掘交流会」参加

2013年、村上市の農商工連携フェアに初めて出品しました。出品したものは、講習会で実習した「村上の鮭フレーク入り米粉クッキー&村上茶入り米粉クッキー」の2品目。多くの市民の皆さんから試食をしていただきました。その反応は・鮭をこうして吃るのは良い。・村上茶の香りが良い。・子どもでも食べられる。・市のイベントにも出したらしい。等々でした。村上市消費者協会



◇スーパーとの懇談会

年1回市内の各スーパーの店長様と懇談会を実施して、普段要望できない事を実現していただきたり、スーパー側から消費者に対し注意してほしい事をチラシにして配布しました。私達の生活に反映される事業なので、前向きに懇談会を盛り上げ取り組んでいます。

糸魚川市消費者協会

◇「魚沼食文化フォーラム」参加

河内さくらさんによる講演会・料理講習会と魚沼のおもてなし郷土料理の試食交流会に会員の66%が参加しました。河内さんの楽しいトークに毎日の食事の大切さを再認識し、18種類の魚沼の伝統の味に舌鼓を打ち、毎年参加したいとの要望で続けています。

小千谷市消費者協会

◇「ウイルながおかフォーラム」参加

主婦力満載の“賢い消費者の部屋”を企画。店頭に並ばない小芋、長岡野菜や古代米を使った知恵の詰まった料理の提供、チラシや木の実を利用した小物作り体験、ちょっと頭を使って消費者力検定と消費者視点の楽しめる市民交流会です。

長岡市消費者協会

その他

◇防災に関する意識調査と防災用品のテスト

新潟市からの委託事業は長年にわたり継続している事業で、これまで4回、成果を全国消費者フォーラムで発表してきました。ここ3年間は防災にテーマを絞り、今年は県の委託事業と合わせて著名な講師を招いて講演会を計画しています。

新潟市消費者協会新潟支部

《現場を見て！》



亀田製菓株式会社



亀田製菓は1946年亀田郷農民組合委託加工所として創業、水飴の委託加工を開始したのが始まりです。1957年に亀田製菓株式会社を設立し、会社のロゴマークに赤い六角形で囲った亀甲マークが制定されました。1960年代に量産化に対応すべく大型最新鋭の機械を導入、「ピーナツ入り柿の種」がヒット、記録的な売り上げで大手メーカーとしての基礎を築きました。それ以降もヒット商品は続き、現在国内米菓のリーディングカンパニーとして、813億2,300万円(2013年3月期)の売上高を持っています。

亀田製菓発展の原動力

亀田製菓は、国内米菓市場のシェア約30%を占め、1975年から30年以上トップを走り続けてきました。この動力は商品開発と販売戦略にあるようです。米菓は原料に日本人の主食である安全、安心なお米を使い、日本人が好きな醤油の味付けの嗜好品ということで時代の流れとともに売り上げが伸びました。またグループ企業との連携により、百円ショップからスーパーマーケット、百貨店まで、あらゆる販売チャネルで市場の変化に即座に対応できる、柔軟な流通網を築き上げたことも亀田製菓の強みです。



総務部総務課長 佐藤匡兼さん、経営企画部マネージャー 高木政紀さんにお話を伺いました。

これからのお題

国内の少子化によって今後お菓子の需要が減少することが考えられます。今後は商品の多角化としてお菓子以外の領域へ踏み出しています。ヘルスケア商品として慢性腎臓病の食事療法食低たんぱく質米飯「ゆめごはん」、高齢者が食べやすいユニバーサルデザインフード「ふっくらおかゆ」、抗アレルギー効果が確認されたお米由来の「植物性乳酸菌を用いたヨーグルト」など、お米を知り尽くした亀田製菓だからこそ実現できた製品です。また、海外展開も手掛け、米菓の味を世界中の人たちに届ける「グローバル・フード・カンパニー」を目指しています。



ハッピーターン

発売は1976年、オイルショックで不景気な時代。お客様にハッピー(幸せ)がターン(戻る)するようという願いを込めてネーミングし、大ヒットしました。

リデュース・リユース・リサイクル! 亀田製菓の環境への取り組み

亀田製菓では、米菓の製造過程でCO₂排出量の少ない都市ガスを使用、施設内空調の温度設定や待機電力の削減など、省エネルギー活動に取り組んでいます。また、米菓の製造過程で出る「米菓くず」を粉碎処理し、豚などの「えさ」として再利用。環境に配慮した企業活動を進めています。ちなみに社員食堂ではその豚を使った料理の提供もしています。

生活に喜びと潤いを届ける会社

お酒のおつまみとして必ずでてくるのが「柿の種」、又おやつとして誰にでもおいしいと喜ばれるのがおせんべい類です。「長年、先代が築き上げてきた実績を守りながら事業の拡大を図っていきます」という担当者の言葉に会社発展の原点が感じられました。販売戦略には有名人を使ったCMやサッカーアルビレックス新潟のユニフォーム胸面の「亀田製菓」の文字は宣伝効果抜群です。“亀田のあられ、おせんべい”というやさしくてリズム感のあるCMに、ついおせんべいを手にとって買ってしまう消費者も多いことと思いました。

(編集委員 藤田純子)

編集
後記

「カラビナ142号」いかがだったでしょうか。今号は間もなく始まる新税率消費税について表示の仕方を取り上げてみました。また、今号は糸魚川の笠原さんから地域協力員になっていただきました。ありがとうございました。編集に對しご意見・ご感想、載せてほしい記事を遠慮なくお寄せ下さい。(編集委員一同)